

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

# わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより平成29年6月15日発行

## 中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流 ～赤碕「男の料理教室」の実践発表より～

5月20日（土）、21日（日）に福岡県で中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会が開催されました。そこで、鳥取県中部地区代表として赤碕地区の取組が実践発表されました。

### 【テーマ】 赤碕「男の料理教室」の10年

～腕を磨き、認知症を防止し、家事の一役を担い、人々を繋いだ～

#### 発表概要（配付された大会パンフレットより）

赤碕は漁港の町である。10年前に8人でスタートした「男の料理教室」は「男子厨房にいるべし」をスローガンとした。若い世代も交え、現在会員数は72名となった。目標は、腕を磨き、認知症を防止し、家事の一役を担い、人々を繋ぐことでした。本教室は自主運営・自主企画・自学自習で、プロの講師に依頼せず、そば打ちを含め、年6回の教室は、料理好き役員が工夫し、講師として開催している。自らの工夫で相互に学習している。メインは魚料理、予算は持ち寄り、レシピは簡易化して、日々の食卓に貢献することを目指している。教室の成果の披露を兼ね、各種の招待食事会を企画して、女性はもとより、町の関係者、知事や県議まで招待して、会員と地域を繋ぐ工夫している。



発表者は、「男の料理教室」会長の西村さんと赤碕地区公民館長の藤田さん。

新しい会員には他の会員の2倍、魚をさばいてもらっている。



「素晴らしい取組。食べることが人をつくり、生きがいとなる。会員同士、思いやる心が料理の彩りをよくしている。」  
某有名ハム会社の食育・広報担当より



会場は満員

参加者は興味のあるテーマ会場へ行きます。増席するほどの人気ぶりでした。

ポイントは「食を通じた人づくり」



感動の声！

今や会員数がスタート時の10倍近くまで増え、調理室は満員御礼の状況。会員の多くは包丁を持ったことのない初心者なので、男同士、先輩会員から調理を学ぶ姿は真剣そのものですが、ほのぼのとした様子です。年齢や地域を越えて食をとおした人と人とのつながりが広がっています。



# 東伯郡社会教育協議会からお知らせ

平成29年度東伯郡社会教育協議会表彰は3名の方に決定！

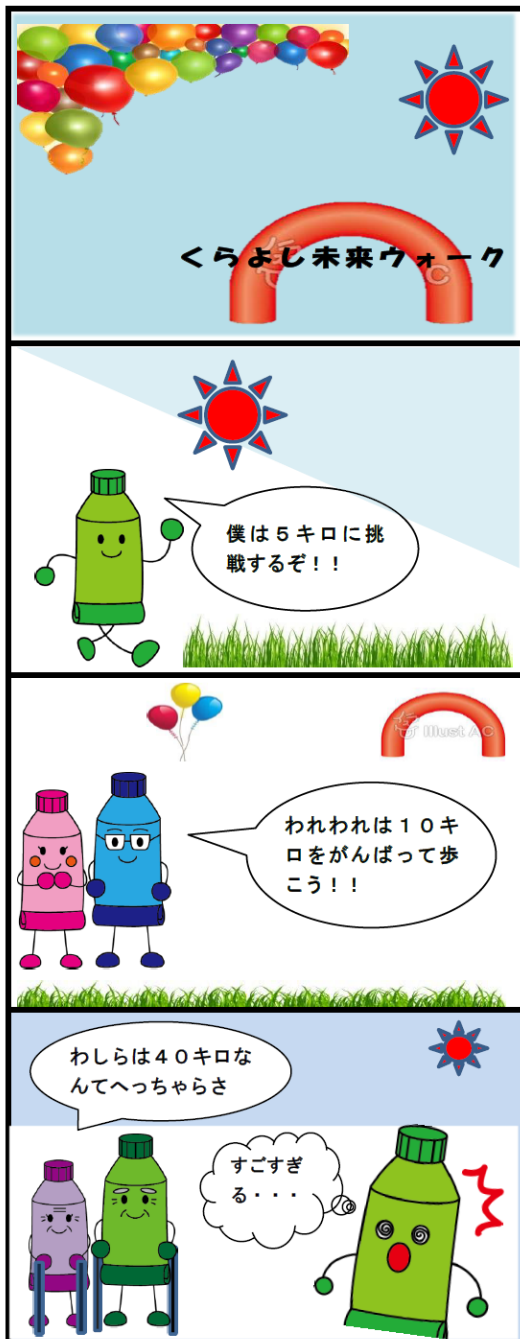
5月18日（木）に総会が開催されました。その中で、東伯郡社会教育協議会表彰があり、今年度は3名の方が受賞されました。御紹介します。

- 渡邊光子さん（写真右）  
（婦人会、社会福祉協議会など地域活動に尽力されました。）
- 前田昭範さん  
（北栄町の歴史文化の振興発展のために尽力されました。）
- 南場兄一さん（写真左）  
（北栄町の文化財の保護や活用に尽力されました。）



## ちゅうぶくん

～ウォーキングに挑戦～



東伯郡社会教育協議会では今年度も地域を盛り上げる社会教育活動を応援します。ぜひ、下記の事業を地域づくり、まちづくりに御活用ください。

事業名	内容	期間	対象
1 社会教育関係者研修等派遣	先進的な取組を学び、地域活動等に生かすために、社会教育関係者を県外の研修会に派遣する。	通年	中部地区社会教育関係者、及び中高生（1名×4町）
2 社会教育活動助成	中部地区で市町をまたがって活動する社会教育団体の活動に対し助成する。 上限2万5千円	通年	中部地区内で活動する社会教育団体（1団体×4町）
昨年度実績 ・みささ青空体験塾（子どもの体験活動）			
3 社会教育活動助成（青年活動）	中部地区で活動する青年層を中心とする社会教育団体の活動に対し助成する。 上限2万5千円	通年	中部地区内で活動する社会教育団体（2青年団体）
昨年度実績 ・三朝町青年団（広島平和公園にて折鶴奉納）			
4（臨時） 中国・四国地区社会教育研究大会鳥取大会の開催	第40回中国・四国地区社会教育研究大会に要する参加費を助成する。	10月26日・27日	中部地区内の社会教育委員、社会教育・学校教育・家庭教育関係者（20名程度）

※お問合せは、各町教育委員会社会教育担当までお願いします。

【あとがき】クールビズになり、県や市町村をPRするポロシャツやTシャツを着る機会が多くなりました。私のお気に入り「鳥取和牛オレイン55」ポロシャツ。このポロシャツを着るだけで食べた気持ちになり、自然と元気になれる。オレイン酸効果です。

中部教育局 社会教育担当 西村 信彦

電話 0858-23-3253

FAX 0858-23-5203

E-mail [nishimuran@pref.tottori.lg.jp](mailto:nishimuran@pref.tottori.lg.jp)

